

## JPIX 「IPv6v4 エクスチェンジサービス」の提供準備を開始 ～ISP の IPv6 への円滑な移行をサポート～

日本インターネットエクスチェンジ株式会社(以下 JPIX、本社:東京都千代田区、代表取締役社長:石田慶樹)は、株式会社インテック・ネットコア(本社:東京都江東区、代表取締役社長:荒野高志 <http://www.inetcore.com/>)の協力のもと、JPIX 加入者向けに IPv6 グローバルアドレスのみをもつクライアントホストから IPv4 インターネット上に存在するコンテンツサーバへの到達性を提供する「IPv6v4 エクスチェンジサービス」の準備を開始いたしました。

IPv4 グローバルアドレスは、2011 年には枯渇し、早ければ 2012 年ごろから ISP において実際に影響が出始めると予想されております。IPv4 アドレス枯渇の初期段階では、最初に影響を受けるのがアクセス網を構築している ISP のインターネット接続サービスに新規加入してくるエンドユーザであり、ISP では新たな IPv4 グローバルアドレスを確保できないことから、新規ユーザには IPv6 アドレスのみを割り当てるしかないような状況になることが予想されます。このような場合において、IPv6 アドレスのみの割り当てを受けた新規ユーザに対して、IPv6 に対応していない従来通りの IPv4 グローバルアドレスのみが付与されたコンテンツサーバへの到達性を提供するため、JPIX が IPv6 トラヒックを IPv4 トラヒックに変換するトランスレータを用意し、「IPv6v4 エクスチェンジサービス」として加入 ISP に対してアウトソース提供を行います。

なお、サービス概要は以下の通りです。

### [サービス概要]

- ◇試験サービス開始予定 : 2009 年 9 月
- ◇正式サービス開始予定 : 2010 年 7 月
- ◇対象サイト : JPIX 首都圏サイト (JPIX 名古屋、JPIX 大阪を除くすべてのサイト)
- ◇特徴 : IPv6 から IPv4 に変換をするトランスレーションサービス

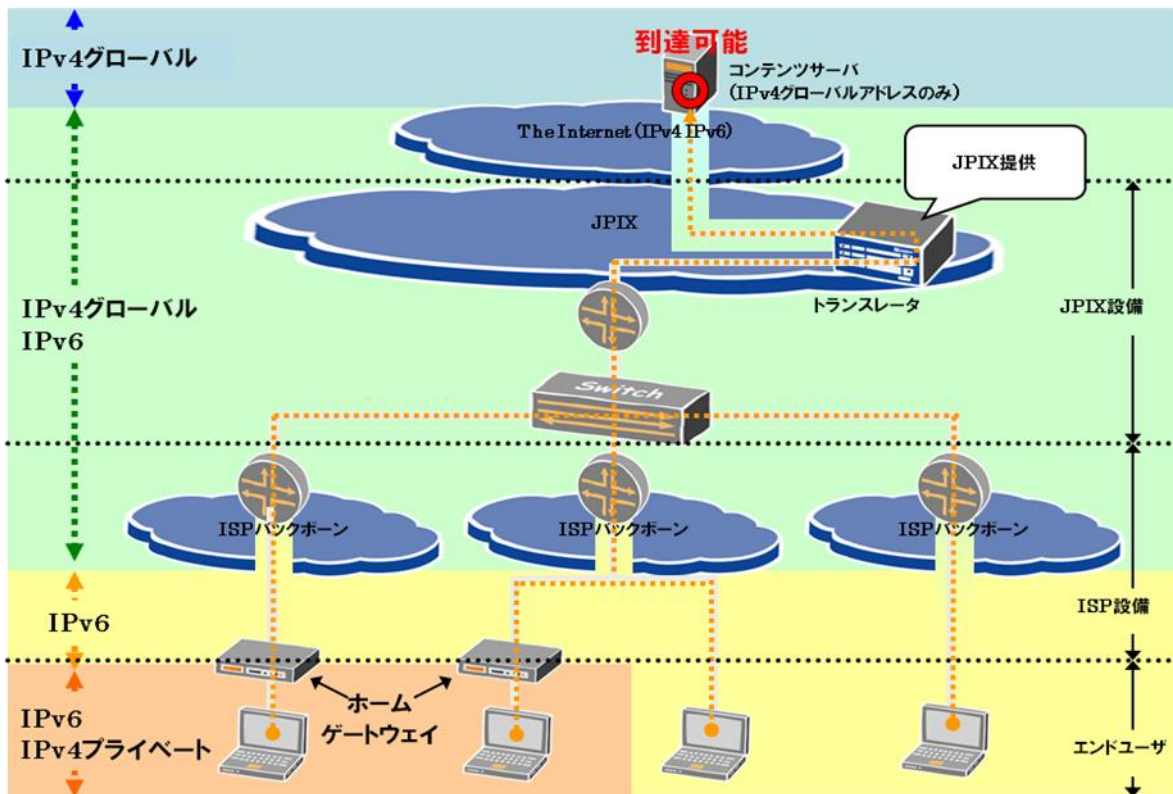
### ◇利用が想定される ISP

- ・ネットワークの拡大に伴い、エンドユーザに対して割り当てる IPv4 グローバルアドレスがなくなってしまった ISP
- ・新規に大規模なネットワークを構築するにあたり、はじめから IPv6 アドレスでサービスを開始する ISP

### ◇このサービスの特長

- ・JPIX の設備によるアウトソースサービスなので、加入 ISP のバックボーン設備 (トランスレータ、キャリアグレード NAT などの構築・運用) の負担を軽減できます。
- ・ISP において構築・運用するエンドユーザ向けのネットワークが IPv4 グローバルと IPv6 グローバルの 2 面構成、もしくは IPv6 グローバルの 1 面構成となり、ネットワークの移行・共存期間のオーバーヘッドが少なくなります。
- ・2011 年ごろと言われている IPv4 グローバルアドレスの在庫が無くなるタイミングの前に、より多くの時間的な余裕を持った対策をとることができます。

◇サービスイメージ図



その他サービス内容の詳細については試験サービスを通して決定していきますが、詳細については随時 URL <http://www.jpix.ad.jp/>にて公開してまいります。

JPIX は、IPv4 グローバルアドレス枯渇に伴う IPv6 の本格展開にむけて、引き続き積極的な取り組みを進めて参ります。

<本件に関するお問い合わせ>

日本インターネットエクスチェンジ株式会社  
<http://www.jpix.ad.jp/>  
 営業部 sales@jpix.ad.jp  
 TEL:03-3243-8626 (土日祝祭日を除く)